

2012.10.15 第5号

西陣憩いの郷だより

〒602-8476 京都市上京区桐木町885-1
TEL 075(431)1513 FAX 075(431)1514

発行:社会福祉法人北野健寿会 特別養護老人ホーム西陣憩いの郷
発行責任者:吉村 康 (全室個室のユニットケア施設)



源義経・奥州旅立ちの地といわれて
いる「首途八幡宮」(智恵光院今出川)
かどではちまんぐう

〈施設の運営理念〉人としての尊厳・自己決定を尊重し、安心安らぎの場を提供します。

祝・百寿!

同様なことが医療現場では、「科学的根拠に基づいた介護」としてずいぶん以前より導入されています。医療は、医学・看護学など学問として確立されたもののが存在します。それに基づいた理論や原理をベースに、現代医療は行われています。しかししながら介護の世界では、いまだ介護学が確立されていないため、論理や原理に基づいた介護を実践するのは困難だった経緯があります。昨今、超高齢化社会となり介護される人の増加とともに、学問としての介護も徐々にではあります

が確立されようとしています。これらをふまえ当施設では、すべてのスタッフが介護の理論や原理を日々しつかり学ぶ体制を作り、それを実際の介護に生かすべく努力しております。「科学的根拠に基づいた介護」を実践することで、入居者の皆さまが少しでもよりよい状態で日々を過ごしていただけるものと確信しております。これからも引き続きみなさまの

お力添えをお願い申し上げます。

暑い夏も過ぎ、ようやくすごしやすい秋を迎えることができました。

昨年より当施設は、「科学的根拠に基づいた介護」をひとつ目の目標にいたしました。これは、具体的にいえば、理論や原理に基づいた介護の実践ということです。

理事長 相馬 隆人

「科学的根拠のある介護を」

平成23年度事業報告について

社会福祉法人北野健寿会は平成24年8月29日で設立から9年を迎え、特別養護老人ホーム「西陣憩いの郷」は同5月1日でまる7年を迎えるました。

決算状況の報告

平成23年度の事業活動収入は5億7,710万円、事業活動支出は4億8,022万円、事業活動収支差額は9,688万円で、事業活動外収支差額は3億2,196万円となり、昨年度と同別収支を合わせた次期繰越収支差額は34年7月より稼動いたしました。

入居者の概況

入居者の平均年齢はこれまで1年経過するごとに1歳程度高くなっていますが、22年度からはほぼ横ばいで23年度末は91・6歳となっています。最高齢は105歳2ヶ月で、今後も100歳を越す超高齢者が増えていくと予測されます。(平均年齢・最高齢・認知症度は22年度同様、Ⅲ(※)以上のお重度の方が47名と、入居者の7割以上を占めています。(平均年齢・最高齢・認知症度すべて平成24年3月31日現在)

(*) 認知症高齢者の日常生活自立度判定基準

職員の状況

常勤介護職員の入職者は16人、退職者は9人で、離職率は15・5% (平成22年度の離職率は29・2%)と前年度から激減しました。また職員の知識と技術の向上のため介護福祉士国家資格取得に向け、講習会に優先的に参加させるなど支援したりと大変濃い内容の実習になつていると感じています。現場職員も指導するという立場になることで新しい発見があり、成長することが出来ていると思います。これからもケアの向上に向けて実習生の受け入れを行い、お互いが意味ある時間を過ごせるように取り組んでいきたいです。今後とも、ご家族様のご理解ご力をお願いいたします。

京都府看護専修学校生を迎えて

介護副主任 (実習指導者)
井ノ口 武史

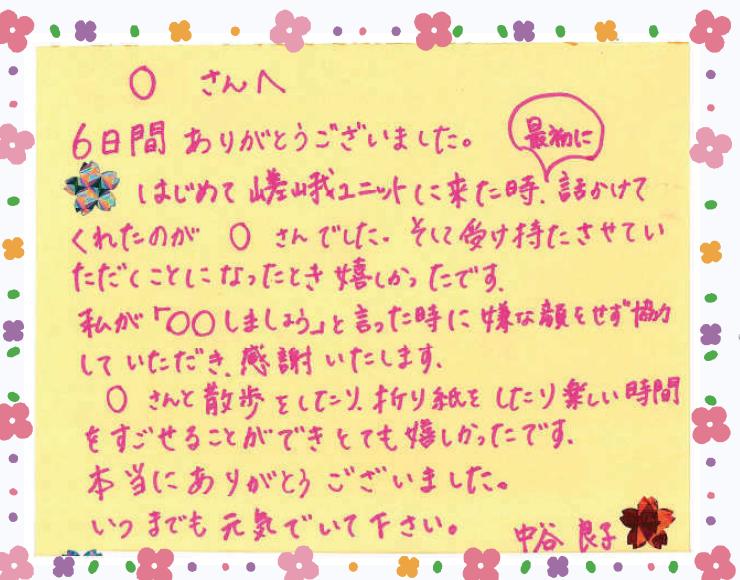


憩いの郷の守護神

ボランティアさん紹介



▲レクリエーションの様子



▲実習生 中谷良子さんから、ご入居者へのお礼の手紙

お茶会ボランティア



▲左から 娘様・木村やす様・道子(茶名 宗泉)様

大正琴アンサンブル「あいりす」さん紹介

大正琴アンサンブル「あいりす」さんを紹介いたします。

このグループのホームグラウンドは名古屋で、代表の田中美以子様を中心に、数名で大正琴の練習・研鑽をされている、主婦のグループです。

西陣憩いの郷では、本年(2012年)2月と6月に来ていただき、素晴らしい演奏を聞かせてくださいました。アンサンブル形式にされているのは、2~3名で、フットワーク軽く演奏活動をできること。当施設へ多くの機材を積み、名古屋から駆けつけてくださっています。大正琴の曲のバリエーションは多く、民謡、唱歌、昭和演歌、歌謡曲、ポピュラーと、幅広いレパートリーがあります。本年秋にも、新しい曲を携えて、当施設に来ていただく予定ですので、ご期待ください。

(生活相談員 山本 将人)



▲あいりす代表の田中美以子様

大正琴ボランティア

がんばれ実習生

食事・栄養の状況

前年度に比べますと療養食を提供する入居者が35名から24名に減少しています。継続して療養食を提供することにより、病態が改善できたといえます。店舗内外で季節を感じ、さまざまなアイデアで日々の生活に楽しみを持つていただけたように努めました。

	22年度	23年度
自立 (布パンツにパッド使用)	50人	47人
ほぼ自立 (リハパンにパッド使用)	37人	43人
終日 オムツ使用	13人	10人

オムツ使用状況の比較

入居者の安全確保に対応する取り組み

集団感染はありませんでした。引き続き感染症対策・予防また誤嚥等の介護事故の発生を未然に防ぎ、入居者の安全確保に努めてまいります。



事務長 奥野 文夫

結果、高い合格率を確保することがであります。しかし、施設で過ごしていただく上で、入居者の生活の質を高めるため『オムツゼロ特養』へ自立排泄に向けて取り組みました。

平成23年度 決算報告	
■貸借対照表	平成24年3月31日現在
資産の部	負債の部
流動資産	20,656,620
固定資産(基本財産)	940,751,452
固定資産(その他の固定資産)	961,408,072
総資産の部	
基本金	242,055,000
国庫補助金等特別積立金	366,131,349
その他の積立金	86,000,000
次期経営活動収支差額	321,960,672
(内生年活動収支差額)	(81,193,870)
純資産の部合計	1,016,147,021
資産の部合計	1,977,555,093
負債及び純資産の部合計	1,977,555,093
■事業活動収支計算書	
支出の部	収入の部
人件費	544,296,308
直接介護費	11,902,117
一括管理費	128,625
減価償却費	20,717,144
引当金換入	
事業活動支出計	577,104,194
借入金利息	226,137
その他の事業活動外支出	150,000
事業活動外支出計	281,0184
その他の特別損失	3,186,321
特別損失計	
(当期活動収支差額)	(81,193,870)
支出の部合計	580,290,515
収入の部合計	580,290,515

奥野事務長は菊水鉢菊童会の一員として京都の代表行事「祇園祭」の保存に携わっています！

慶祝四十七年！

が55度末では51名でした、23年度末では55名に増加しております、入居者の重度化伺えます。

23年度もインフルエンザ等感染症の発生を未然に防ぎ、入居者の状況に合わせて、希望に添える個別対応や行事食を充実させていきます。

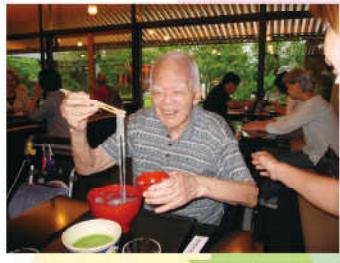
事務長 奥野 文夫

西陣憩いの郷 行事のご報告

平成24年度前半



近くにオープンした
くら寿司へ行きました♪



とうや・鶴屋吉信へ♪

食欲の秋到来!

**ご入居者森川氏の
厳選フォト特集**

プロ顔負けの腕前！の森川氏撮影の
写真をご紹介します！

今宮祭りにて

千本今出川の桜

屋上のひまわりです

4月

5月

6月

「喫茶憩い」でお待ち
しています！

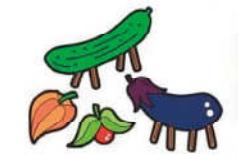
どれを買おうか、迷いますね！



イオンモール
へいきました

8月

地蔵盆



夏祭り



当施設の記録管理システムについて

総務・設備管理担当 木村 浩介

一般企業と同様、当施設においても様々な場面で記録管理システムは利用されています。

介護という仕事は、人と人が直接ふれ合う業務が中心で、一見そういうシステムとは縁遠く感じます。しかし、実は取り扱う情報は、年齢・性別など基本的なことから、食事量・排泄記録、病歴・薬剤情報と多種多様で膨大です。

ケアをより良く行うため、①介護にまつわる情報の共有 ②記録・管理の効率化 ③個人情報の扱いの最適化を実現すべくシステムは活用されています。あらゆる業務において、24時間365日利用される記録管理システムは今や欠かせないものとなっています。

ご家族様が目にされますものを例に挙げますと、「ケアプラン」「栄養計画書」等、介護保険制度上必要な書類も、この記録管理システムを利用して作成されています。

今年度、業務をより的確にサポートすべく、メインの情報システムをバージョンアップいたしました。

入居者様の満足を陰から支えるべく、当施設では引き続きシステムの改善に取り組んでまいります。ご意見等ございましたら、是非お気軽に寄せください。

システム管理から、各種修繕までおまかせください！人呼んで「电脑系事務員」！



システム管理から、各種修繕までおまかせください！人呼んで「电脑系事務員」！

東日本大震災からの復旧復興を支援しています

社会福祉法人北野健寿会では、震災後、募金や現地の高齢者施設への職員の派遣を行ってきましたが、このたび支援の一環として、吉村康施設長が執筆した『幕末のジャンヌ・ダルク』歴史物語新島八重の生涯（税込一、六八〇円）が、福島県会津若松市の地方出版社「歴史春秋社」から出版されました。

新島八重は、同志社を設立した新島襄の妻で、来年のNHK大河ドラマ「八重の桜」の主人公です。

原発事故の風評被害で福島の畑には未だに何も植わっていないまんし、観光客の来なくなつた会津若松市のメイ

ン・ストリートはシャツタ通りになつています。

百四十数年前、禁門の変で焼野原となつた京都と同様、戊辰戦争（一八六八年）で焼野原になつた会津若松市では、来年の大河ドラマを機に大勢の方が訪れてくれることを心から期待しておられます。皆さんのご支援をお願いいたします。当法人では引き続き、東北地方の復旧・復興を支援していきます。

施設紹介③ 1階サロン「光悦の間」

今回の施設紹介は、1階にありますサロン「光悦の間」です。

千本通りに面する窓からの陽光も明るい、フローリング張りのこの場所は、ご家族様との面談、職員の会議・打合せなどに使っています。また鏡つきのカウンターが作り付けられていますので、ご入居者の訪問理美容に使用したりと、様々な用途に使っています。

以前ご紹介しました和室やイベントホールと同じくご家族様や地域の皆様にもご利用いただけますので、お気軽にお問い合わせください。

（要予約制・担当：事務長 奥野）



編集後記

今号の表紙を飾つていただきたのは、今年度に100歳を迎えたの方々です。そのお祝いの会に京都市と府の職員の方が来てくださいました。会の途中はマイクを向けてもだまつていらっしゃった入居者のお一人が、職員の方が帰られる時、「今日はお世話になりました。ありがとうございました」と仰られたひと言に100歳の重みと日本人の礼節を感じた瞬間でした。

（担当：N）

施設のご案内



京都駅方面より…市バス 206・50系統 四条河原町方面より…

市バス 46・59・201系統 「千本今出川」バス停下車徒歩3分

（お問合せはこちらまで）
〒602-8476 京都市上京区桐木町885-1

TEL 075-431-1513

FAX 075-431-1514

E-mail:nishijin-ikoi@kitano-kenjukai.or.jp

メールアドレスが変わりました

